



# おかやま環境ネットワーク

**NO.81**  
2015.11

# NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク  
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7  
TEL/FAX 086-256-2565  
E-mail:kankyounet@okayama.coop  
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

## 『体験プログラム』開催報告

### 『海ホテル夜間観察会』

- ◆日時：7月11日（土）18時～23時
- ◆行先：倉敷市大浜海岸（鷺羽山下電ホテル前）
- ◆講師：吉鷹一郎氏（関西高校講師）
- ◆参加：58名
- ◆内容：海ホテルなど夜の海辺生物観察  
講師による現地の自然環境やいきものについての解説があり、その後3班に分かれ、えさを入れた手製のしかけを沈めて採集しました。しかけにはたくさんの海ホテルが入っており、刺激を与えると、青い光が一気に広がり、神秘的な夜の海の不思議を体験しました。



現地昼間の様子



採集仕掛け

#### ◆参加者の感想

- ・ 実際に見て触れて、親子共に楽しく参加させていただくことができました。高校生のお兄さんたちとお話することもでき、夜の海の様子、海岸の砂を直接手で触れて感じたこと、カニの様子等々、普段の生活ではなかなか感じることでないことをたくさん体験させていただくことができました。
- ・ 初めて海ホテルを見ました。身近に良い観察場所があるのが分かりました。先生や、学生さんの詳しい説明も楽しかったです。
- ・ 発光の仕組み等、先生のお話はとても有意義で面白かったです。貴重な体験ができ感謝です。



採集した海ホテル



観察の様子

### 『みつばち農園学習エコツアー』

- ◆日時：8月5日（水）8時30分～15時
- ◆行先：男女山公園風力発電所  
山田養蜂場みつばち農園
- ◆参加：44名
- ◆内容：当日は、バスの中でエコライフに関するクイズ大会とくらしきエコアクションについての解説、並びに「アマモの恵み」DVDを鑑賞し、男女山公園の風力発電所の見学の後、山田養蜂場みつばち農園にて、みつばちの役割、自然との共生等のお話を聞き、面布を付けて採集体験をしました。



養蜂体験



集合写真

#### ◆参加者の感想

- ・ 人間も環境の一部なので、共生できるように森や森林、山里を守る必要があると思いました。
- ・ 色々な現実的な環境のことと結びついて知ることが勉強でき、自分のできることを考えていきたい。
- ・ みつばちの生態から、環境問題を知る展開になり、身近に色々な問題があることを知る貴重な機会になりました。
- ・ 巣を間近で見ることができてうれしかったです。みつばちの生態や、木や花のこと、環境などいろいろなお話を聞くことができ、良い経験ができた。
- ・ 自然の環境の大切さが楽しく勉強になりました。できることに協力していこうと思います。
- ・ バスの中ではアマモのことがよくわかりました。自分たちだけでなく後世まで美しい自然を守っていくことは大切だなと思いました。今まであまり何も考えていなかったけれど、自分だけでなく地球のことも考えていきたいと思いました。
- ・ 実際に本物を観察するとやっぱり自然に感謝する気持ちを改めて感じます。

## 体験プログラム開催報告

### 『伊部つながりの森へ行こう』

- ◆日時：8月7日（金）8時30分～15時
- ◆行先：伊部つながりの森
- ◆講師：安田年一氏（株ハウジング山陽取締役）
- ◆参加：43名
- ◆内容：当日は、講師による現地の概要解説の後、森の探検、檜の間伐・皮むき体験、間伐材を使用した木工クラフト（えんぴつ・ハンガー作成）、スタンプラリーを体験しました。



間伐体験



集合写真

#### ◆参加者の感想

- ・ 木や森がこのような守られているのが、はじめてわかりました。本物の大木の代採はさすがに迫力があり、山の男、森の男、林業をされる方たちがかっこよく見えました。とてもよい体験をさせていただきありがとうございました。
- ・ 30年前に植えた木が700円にしかならないのにショックを受けました。木材の使い方が色々あることを知りました。おおいに楽しむことができ、知識も増えてうれしかったです。
- ・ 普段の生活では、体験できないことを体験させていただき、親子共々楽しい時間を過ごせました。自分たちの身近にあることなのに、実生活から離れてしまって、驚かされること多々でした。これからの生活に一つでも活かせたらいいなと思っています。



間伐体験

### 『蒜山の百万年の自然の歴史を調べよう』

- ◆日時：8月9日（日）8時～17時40分
- ◆行先：昭和化学珪藻土採掘場、津黒いきものふれあいの里、山乗溪谷、湯原ハンザキセンター、湯の駅「ひまわり館」
- ◆講師：山口一裕氏（岡山理科大学理学部教授）  
吉鷹一郎氏（関西高校講師）
- ◆参加：65名
- ◆内容：当日は、①昭和化学工業株式会社岡山工場にて、山口先生の解説のもと珪藻土露天堀場見学、②津黒いきものふれあいの里にて、ササユリ館見学と吉鷹先生、岡山野生生物調査会、岡山理科大学学生・附属高等学校生徒の皆さんの指導のもと、水辺のいきものの採集と観察、③山乗溪谷にて、山口先生、吉鷹先生の解説のもと見学、④湯原ハンザキセンターの見学をしました。車中では、吉鷹先生から、各地の自然、いきもの、歴史、文化等について解説いただきました。



水辺いきもの観察



集合写真

#### ◆参加者の感想

- ・ 丸一日の内容豊富なプログラムに驚きました。蒜山の歴史で知らなかったことを知ることができ、非常に良かったです。珪藻土にも触れることができ感激しました。盛り沢山な内容で、見て触れて感じることができました。
- ・ 蒜山に湖があったことや、旭川のなりたち、珪藻土は身近なところに使われていることなどがよくわかりました。採掘場からの景色が雄大で、自然を感じることができました。
- ・ バスの中でも色々説明がありとてもよく解った。津黒高原で珍しい魚が獲れ、良かったです。
- ・ 他の参加者とも交流でき楽しい一日でした。
- ・ 県北の自然やいきものについて、はじめて知ることが沢山ありました。自然の雄大さと、古代ロマンを実感して、良かったです。
- ・ 先生方の解説付きの調査活動というのは、家族だけでは成り立たずに貴重な体験でした。



## 体験プログラム開催報告

- ◆日時：8月12日（水）13時～16時
- ◆場所：児島湾高島干潟
- ◆講師：齋藤達昭氏（岡山理科大学理学部准教授）、吉鷹一郎氏（関西高校講師）
- ◆参加：51名
- ◆内容：当日は、講師による干潟の役割や現地のいきものについての解説の後、実際に干潟の中に入り、いきもの採集体験と、採集できたいきもの解説を聴きました。



いきもの採集



解説風景

### ◆参加者の感想

- ・干潟が環境に与える影響や昔の様子、いきもの役割などととても勉強になりました。先生方のとても丁寧で分かりやすい説明に子どもたちも真剣に耳を傾けていました。
- ・実際に自分で見つけて体験する喜びは大きかったと思います。このような企画があれば参加をさせていただきたいし、普段の生活の中でも家族や仲間と話をしていきたいと思います。
- ・干潟に入っていきものを見るのは初めてでした。カニやエビがたくさんいていきものが豊かなことがよくわかりました。子どもたちが珍しいいきものをいろいろ見つけてきてとても楽しかったです。先生方や学生の皆さんの説明や解説が楽しくて分かりやすく、干潟の大切さを改めて実感しました。
- ・普段本や図鑑などで興味を持っていた干潟でしたが、実際に体験できて、親子で夢中でいきものを採りました。とても興味深く親子で参加をすることができました。
- ・貴重な体験をありがとうございました。干潟の役割、いきもの多様性など、干潟は本当に大切な場所だということがわかりました。
- ・学生のお兄さんお姉さんにも優しく楽しく接してもらい、長男は「理科大に行って生物の研究がしたい」と口にするほど、楽しく勉強をさせていただきました。

## 市民のための環境講座開催報

### 『捨ててはいけない！～食品ロス問題を考える～』

- ◆日時：9月5日（土）13時～15時
- ◆講師：齋稲見圭紅氏（岡山市エコ技術研究会・理事）
- ◆参加：22名
- ◆概要：食品ロスの削減は世界的にも大きな課題となっている中、私たちの行動を見直し、どのように「食品ロス」問題に取り組むべきか、身近な事例をもとにお話いただきました。



稲見圭紅氏

### 『地球規模の環境問題～全体をつかむことの大事さ～』

- ◆日時：10月2日（金）18時30分～20時
- ◆講師：白井浩子氏（元岡山大学准教授・公益財団法人おかやま環境ネットワーク理事）
- ◆参加：14名



白井浩子氏

- ◆概要：食市民運動の歴史や、地球史を振り返り、エコロジカル・フットプリント＝人間活動量算定の解説と、今後の展望についてお話いただきました。

### 『環境とは何か』

- ◆日時：10月3日（土）10時～12時
- ◆講師：千葉喬三氏（就実学園理事長・公益財団法人おかやま環境ネットワーク理事）

- ◆参加：28名
- ◆概要：食環境の辞義、あるべき環境概念、生物が存在するための条件、生物界のシステム、環境問題の本質、求められる新しいパラダイムと実践についてお話いただきました。



千葉喬三氏

## アマモシンポジウム開催報告

### 『アマモシンポジウム』

- ◆日時：10月10日(土) 10時～12時
- ◆会場：日生町漁業協同組合2階
- ◆参加：125名
- ◆内容：主催者を代表しおかやま環境ネットワーク里海づくり推進部会・田中丈裕部会長より主旨説明の後、日生町漁業協同組合・淵本重廣代表理事組合長、生活協同組合おかやまコープ・平田昌三理事長より、ご挨拶いただいた後、以下の取り組み報告と、参加者との意見交換を行いました。
  - ・日生町漁業協同組合専務理事・天倉辰己氏『アマモ場再生活動30年の歩み』
  - ・笠岡地区漁業連絡協議会会員（笠岡市漁業協同組合北木島支所長）・藤井和乎氏『豊かな海への漁師のチャレンジ！～笠岡の海でのアマモ場造成活動～』
  - ・神島寺間見崎里浜づくり代表・森中憲治氏『アマモ場づくりの動機と活動の展開』
  - ・笠岡工業高等学校・田中悠矢さん、藤井就造さん『笠岡湾におけるアマモ場再生への取組』
  - ・生活協同組合おかやまコープ井笠エリア・金高さおり氏『こどもたちに手渡したいアマモのある海』
  - ・岡山市立小串小学校・西浦和佳さん、松中優奈さん『見つめ直そう私たちの小串～ふるさと小串の海を守るために自分たちにできること～』
  - ・備前市立日生中学校教諭・藤田孝志氏『人と海に学び、豊かな感性を育てる海洋学習』
  - ・海洋建設(株)水産環境研究所 研究調査部長・片山貴之氏『アマモ場を作る豊かな海』
  - ・ままかり普及委員会代表・林宗男氏『マカリン』出版紹介



会場の様子



小串小学校の発表

### 『アマモ種選別・種まき体験プログラム』

- ◆日時：10月10日(土) 13時～15時
- ◆会場：日生町漁業協同組合1階・周辺海域
- ◆参加：103名
- ◆内容：アマモの種の選別作業をした後、船に乗り、アマモ場へ移動し、船の上から種をまきました。



レクチャーの様子



選別作業の様子

### 『アマモポット作成体験プログラム』

- ◆日時：10月10日(土) 14時～15時
- ◆会場：日生町漁業協同組合2階
- ◆参加：32名
- ◆内容：森中憲治氏の指導により、アマモのポットを作成しました（ポットは各自持ち帰り、成長を観察し、地元に移植します）。



ポット作成の様子



完成したポット



## ままかり普及委員会

代表 林 宗男



「ままかり普及委員会」は2008年より岡山名物ままかりを岡山県内外に普及することを目的として活動を開始しました。

ままかりは岡山名物と言われているようですが、意外にも家庭での消費は少なく、お土産物といったイメージが強い魚です。これはままかりが小魚であり、その割には鱗がしっかり付いており、中骨が硬いといった固有の特徴に由来し、家庭での調理のし難さや料理のレパートリーの少なさの原因になっています。

ままかり普及委員会ではこのままかりを「食べやすく、親しみやすく」することからスタートし、主に「ままかりの知識普及」「ままかり料理の普及」「ままかりのイメージ普及」をテーマに活動しています。



ままかりの酢漬け(生・焼)  
ままかりのコンフィ(オイル煮)  
ままかり普及委員会作成

林 宗男 氏

1968年生まれ  
岡山県出身  
ままかり普及委員会代表

活動の1つめの柱は広くままかりを知ってもらうことで、岡山市内で行われるイベントに出張し、ままかりの酢漬け2種(生、焼き)、ママカリのコンフィ(オイル煮)などを提供しています。

岡山市西川緑道公園でのイベントではマスコットキャラクターの「マカリン」を用い、子供たちを中心とした「グッズ作成」ができるワークショップを開催し、キーホルダーや指輪などを楽しく作っています。

また、「マカリン」の絵本作成を2012年から岡山県立大学デザイン学部と連動し取り組んでおり、本年10月に完成、出版いたします。



2015年10月出版「マカリン」  
文:林宗男 絵:日高直人

絵本「マカリン」は主人公のままかりの女の子「マカリン」がアマモ場の再生のために奮闘する物語です。この「マカリン」を用いた紙芝居の読み聞かせや塗り絵もワークショップの中で行っています。



「有機生活マーケットいち」  
ワークショップでの活動風景

活動の柱の2つめは、ままかりを含め海の生き物を育むアマモ場の再生や里海づくりに参加することです。

今年は(公財)おかやま環境ネットワークの「里海づくり推進部会」への参加や本年5月、8月には神島寺間・見崎里浜づくりのアマモ場再生活動に参加し、アマモの種の採取などを行いました。

この度の絵本「マカリン」には岡山名物ままかりを知ってもらうことと同時に、アマモの減少や海ゴミについて気づいてもらうという想いが込められています。

この絵本にはチャリティーが付いており、売上の一部を(公財)おかやま環境ネットワークを通じてアマモ場再生と里海づくりのために寄附致します。

マカリンとままかり普及委員会の今後の活動に応援をよろしくお願い致します。

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

# 2015年度『市民のための環境講座』

No.	日程	テーマ・概要	講師
3	1/24(日) ※6～8時	アマモ再生教室③「苗の定植体験」 ※会場:笠岡市・見崎公会堂(笠岡市神島840)	神島寺間・ 見崎里浜づくり代表 森中憲治氏
8	12/12(土) 13～15時	「瀬戸内海の水産資源を取り戻す」 近年、瀬戸内海では地球温暖化に伴う海水温の上昇、ワリの色落ちに代表される貧栄養化などの環境変化が生じており、水産業もそれらの変化への対応が求められています。そうした中、岡山県が開発した「新たな水質環境のモニタリング技術」、「カキ殻を用いた底質改善技術」などについて紹介します。	岡山県農林水産 総合センター 水産研究所・研究員 高木秀蔵氏
9	1/30(土) 10～12時	「瀬戸内海的环境変化」 瀬戸内海は高度経済成長期に「死の海」と言われるほどその環境は悪化していましたが、瀬戸内法制定以降、赤潮発生件数が減少するなど、水質環境は改善されてきました。しかし、一方では漁獲量の低迷に悩まされています。今、「きれいな海」ではなく「豊かな海」が求められています。一緒に在るべき姿について考えます。	香川大学農学部教授 多田邦尚氏
10	2/13(土) 13～15時	「環境問題を捉える視点 ～参加型講座～」 環境問題の解決が難しいのは人により環境問題の捉え方が違っているためです。環境問題の本質を見据え、本当の豊かさとは何かを考えながら、環境問題の解決策について議論します。	吉備国際大学 社会科学部教授 井勝久喜氏
11	2/27(土) 10～12時	「持続可能な社会の構築に向けて ～自然と人間の共生～」 昨年の10月、11月に岡山と名古屋で「ESDの10年最終年會合(ESDに関するユネスコ世界會議)」が開催され、世界から1000人以上の人が集まり、岡山、愛知宣言が採択されました。講座では、ESDとは何かについて考え、重要な概念の1つ「自然と人間の共生」について考えます。	岡山大学名誉教授 青山勲氏

- 会場：第3回は笠岡市見崎公会堂(笠岡市神島840)、第8～11回はオルガ5階(岡山市北区奉還町1-7-7)
- 受講料：無料、必ず事前にお申込みください。定員(第3回のみ20名、他は40名)を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。

※本講座は「岡山県生涯学習大学連携講座」として開催します。

お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などには行いません。



◆お申込・お問合せは  
公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 オルガ6F  
Tel・Fax: 086-256-2565 E-mail: kankyounet@okayama.coop

..... 切り取り線 .....

## 2015年度『市民のための環境講座』参加申込書

フリガナ 氏名	住所	〒							
電話	携帯電話								
FAX	E-mail								
参加申込日に○をしてください	1/24	12/12	1/30	2/13	2/27				

ほたるの乱舞をめざして

# 第13回おかやまホタルフォーラム

兵庫県立人と自然の博物館・八木剛氏によるヒメボタルに関する講演と、県内でホタルの保護、復活、再生をめざし活動している取り組み報告や、岡山市からの情報提供をとおり、自然環境保全活動の交流をすすめます。

「岡山自然を守る会」が保全に取り組む現地視察も行ないます。  
ホタルに関心のある方どなたでも参加できるフォーラムです。是非ご参加ください。

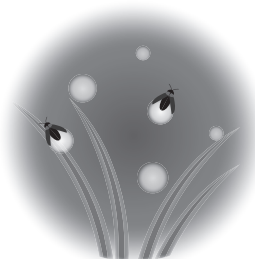
- ◆日 時：2016年3月5日(土) 10時～12時(現地見学：12時30分～現地解散)
- ◆会 場：オルガホール(岡山市北区奉還町一丁目7-7)、現地見学：枝川(イオン西)
- ◆参加費：無料、要申込：FAX・メール・郵送で下記「参加申込書」を送付ください。
- ◆内容(予定)

- 基調講演：兵庫県立人と自然の博物館・八木剛氏『ヒメボタルの特徴と保全』
- 報告：倉敷市児島・岡本勇氏『蛍遊の水辺由加のヒメボタル』
- 報告：岡山自然を守る会・友延栄一氏『岡山市内のまちなかホタル』
- 報告：岡山市環境保全課・内藤元久氏『岡山市におけるホタルの取組』
- 質疑応答：コーディネーター：おかやま環境ネットワーク代表理事・青山勲

※希望者のみ 12時30分～現地見学(現地解散)

- ・その他 各団体資料配布、会場内でのパネル展示、ホタル写真展示
- ・参加者には県内の団体等の取り組みや、調査データをまとめた『ホタル団体活動報告集(仮称)』を差し上げます。

※故・梶田博司氏(元川崎医療福祉大学教授・おかやま環境ネットワーク理事) 所有の写真展、資料等の展示も行いますので、是非ご覧ください。



撮影：梶田博司氏

- ◆申 込：下記参加申込書もしくは必要事項を2月29日(月)必着で、FAX、E-mail、郵送でお申込みください。
- ◆主 催：公益財団法人おかやま環境ネットワーク、岡山市、岡山の自然を守る会

◆お申込・お問合せは  
公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 オルガ6F  
Tel・Fax：086-256-2565 E-mail：kankyounet@okayama.coop



..... 切り取り線 .....

## おかやまホタルフォーラム参加申込書

FAX/TEL 086-256-2565 (FAX・E-mail・郵送でお申込みください) ※2月29日(月)必着

代表者	氏名			
	E-mail			
	電話		携帯	
	住所	〒		
	団体名			
参加者	氏名		氏名	
	氏名		氏名	
	氏名		氏名	



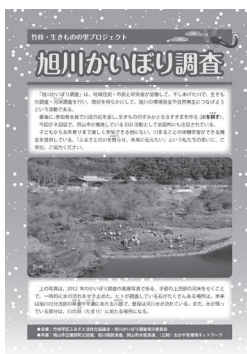
『足守ほたるの集い』  
開催報告

◆日時：9月26日(土)  
14～16時  
◆会場：足守公民館  
◆参加者：30名  
◆内容：ホタルの生息環境の保全には、地域協働による取り組みが不可欠であり、市内各地域で真摯な取り組みが行われていますが、一方で、多くの地域において、都市化の進行による生息環境の悪化や保全活動の担い手不足等の多くの課題を抱えています。そこで、岡山市内の中でもホタルに関する関心が高く、また、地域全体で保全活動が盛んな足守地域の関係者等が一堂に会して、意見交換等を行うことにより、足守地域のみならず今後の市域全体のホタルの生息環境保全対策の推進に資することをめざし開催しました。

当日は、岡山市環境保全課より足守の環境に関する概要の説明と、「足守を守る会」、「大井しいの木いきいき会」、「リフレッシュ福谷」の3団体から活動紹介があり、その後3グループに分かれてのワークショップにて、課題などを話し合い、最後におかもやま環境ネットワーク青山勳代表理事より、全体講評がありました。

旭川かいぼり調査  
パンフレット同封について

11月1日開催の『旭川かいぼり調査』用のパンフレットができましたので、会員の皆様と同封しています。ご査収ください。



2016年度助成募集のご案内

・募集期間：2015年11月1日～12月15日午後5時必着  
・詳しくはHP若しくはネットワークニュースNo.80をご覧ください。募集要項をご覧ください。団体として活用できるかどうか、ぜひご検討ください。  
※書類に不備があった場合受付できませんので、早めにご応募、ご相談ください。

アマモシンポジウム資料の  
同封について

10月10日開催の『アマモ場再生活動30周年記念シンポジウム～地域と世代をつなぐ～』資料を会員の皆様と同封しています。ご査収ください。



環境家計簿カレンダー  
同封について

おかもやま環境ネットワークと岡山市とが協働ですすめています「環境家計簿」に関する啓発資料として『環境家計簿カレンダー』ができあがりしましたので、会員とモニターの皆様と同封しています。ご査収ください。



メールニュース会員  
募集中

おかもやま環境ネットワークの情報や、会員団体のイベント情報等を掲載しています。配信希望の方はメールにて、件名:『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前(必須)、所属団体・会社名(任意)を送信してください。  
現在1,520名にご登録いただいています。

会員 募集中

おかもやま環境ネットワークは、皆様からの会費、寄附、ボランティア活動で支えられています。ぜひ会員となり、活動をご支援ください。

【年会費】

個人・団体：2,000円  
企業等：20,000円  
学生：無料(大学生、大学院生、高校生、就職時は対象外)

器材貸し出しについて

プロジェクター・スクリーンを会員の皆様に無料でお貸ししています。詳しくはホームページ「入会案内」のページの下部をご覧ください。

.....  
 ・ 2015年度会費をまだ納付していない会員の皆様に振込用紙を同封しておりますので、お振り込みくださいますよう、お願いいたします(入れ違いでお振り込みいただいておりますらご容赦ください)。  
 ・ 会費は、企業・協同組合：1口2万円、団体・NPO法人・個人：1口2千円、1口以上をお願いいたします。  
 .....

発行：公益財団法人おかもやま  
環境ネットワーク

〒700-0026  
岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)  
TEL/FAX 086-256-2565  
E-mail:kankyounet@okayama.coop  
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/